

# 都市で生きる人と木の結びつき

～ Tree が私たちにもたらす恵み～

古来より人は「木」と共に生きてきました。実を食料、葉を葉として、住み家や燃料、道標として。世界中で木は常に人の暮らしと共にあり、時にはご神木として信仰の対象になることもありました。

現代でも森林浴に代表されるように、木は私たちに癒しや力を与えています。シンボルツリーのある空間や場所に愛着を感じたり、木から感じる匂い・手触り・音など五感を通して子どもたちの心を育む効果も期待されています。

都市においてはヒートアイランド現象の抑制や、防火機能を利用した都市防災への活用など、木の多面的な機能が見直されています。

今、私たちは日常的に木材—Woodとして木を利用していますが、生きている木—Treeを身近な場所に増やすことで得られるメリットは想像以上に大きいようです。生きている木—Treeのために、都市で生きる私たちができる取り組みや活動を紹介します。



## としまグリーンウェイブ<sup>2016</sup>

広がれ！みどりの波！【実施期間 3月1日～6月15日】



みらい館大明「いのちの森」植樹(平成26年3月)。現在、80cmほどに育っています。

### としまグリーンウェイブ2016予定事業 (平成28年2月1日現在)

池袋本町電車の見える公園「いのちの森」観察会、区役所10階屋上庭園「豊島の森」講座、「緑のカーテン」講習会、つる植物・「いのちの森」苗木配布、南長崎はらっぱ公園「いのちの森」観察会、みらい館大明「いのちの森」開放日・植樹、界わい緑化(池袋本町地区)お披露目会、グリーンウェイブ標語募集、区民によるグリーンウェイブ活動登録グループの募集・苗木の提供

グリーンウェイブとは、国連が定める国際生物多様性の日(5月22日)を中心に、世界各地で植樹等を行い、生物多様性を理解するきっかけとする活動です。

これまで区内では、「グリーンとしま」再生プロジェクトとして約100か所の「学校の森」「いのちの森」づくりを、同プロジェクト実行委員会を中心に進めてきました。このプロジェクトを一層進め、「みどりの波」をさらに広げるために、「としまグリーンウェイブ2016」(平成28年3月1日～6月15日)を実施します。

植樹を行うほかにも樹木の手入れや樹木とふれあうイベント等もグリーンウェイブ活動です。期間中、様々な緑化と生物多様性保全に関する活動が行われます。詳細は、広報としま、区ホームページ等でお知らせします。皆様ご自身によるグリーンウェイブ活動も募集しています。期間中行う活動をお知らせください。区ホームページなどで紹介し、応援していきます。身近なところで「みどりの波」を起こしましょう。

活動への参加、活動計画の相談等については、裏面に記載の豊島区環境清掃部環境政策課までお問い合わせください。